

団体名	那須町文化活動委員会
事業名	那須町工芸作家による地域づくり事業（3年継続事業1年目）
事業目的	<p>関係団体と連携し、絵画、工芸、書道、華道などの体験教室、芸術祭、収穫祭などを開催し那須町に来訪することでしかできない芸術体験を積極的に情報発信する。</p> <p>また、那須町に居住する素晴らしい芸術家、工芸家を効果的に活用して県内外から体験型観光客を集客し、文化交流人口を増加させると同時に地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p>
事業概要	<p>①那須に来訪することでしかできない体験教室の開催 開催日：7/2、10、15、12/8、15、22</p> <p>②芸術祭の開催 5/1～5/31 森のビール園サッポロビール 約400名の入場者あり 9/9、10 余笹川ふれあい公園 約300名の入場者あり</p> <p>③収穫祭の開催 旧室野井小学校 11/19 約300名の入場者あり</p> <p>④情報の発信</p> <p>⑤関係団体との連携</p>
事業の成果や効果	<p>関係団体と提携し、絵画、工芸、書道、華道などの体験教室、芸術祭、収穫祭などを開催するとともに、那須町に来訪することでしかできない芸術体験をホームページ・広告・ポスターなどで積極的に発信することができ、体験型観光客を集客することが出来た。</p>

団体名	黒田原活性化プロジェクト
事業名	「クロロとゆめな」を活用した黒田原地域活性化事業（3年継続事業1年目）
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・黒田原のマスコットキャラクター「クロロとゆめな」を活用し、那須町の知名度向上、魅力発信、ファンの獲得を図る。 ・黒田原商店街に人を呼び込み、にぎわいの創出と活性化を図る。
事業概要	<p>①短編映画による魅力発信事業（開催日：4/15、5/4～5、7、7/23、11/3、11/9～14） 昨年製作された那須町PR短編映画「クロロとゆめな the MOVIE ～ツナガルミライ～」を町内はじめ全国、ベトナム（ホーチミン）で上映した。また「クロロとゆめな」本人も同行しトークやグリーンティングも行うことでより効果的に那須町をPRした。</p> <p>②ラッピングカーによるPR事業 「クロロとゆめな」のラッピングカーを製作し、移動しながらのPR環境を整えた。</p> <p>③ポスター・チラシ等によるPR事業 キャラクターポスター・チラシ等、告知宣伝に係るものを製作し、町内及び周辺地域での配布・掲示等を行い、地元周辺での地域のファンづくり、地盤づくりを実施した。</p>
事業の成果や効果	<p>「クロロとゆめな」は那須町黒田原の史実に基づいて生まれたキャラクターを活用することで、コミュニケーションの障壁が下がり、より多くの層へ地域の魅力を伝えることができた。</p> <p>短編映画は黒田原をはじめ那須の各所が映っており、登場人物も地元の方が多数出演していることから、映像を通して親しみやすく、あたたかな町の魅力を伝えることができた。</p>

団体名	だっばら駅前マルシェ
事業名	だっばら駅前マルシェ（3年継続事業1年目）
事業目的	那須町の中心地区で食を通して産業の礎を構築するため、埋もれている農畜産物やその加工飲食物、飲食店及び食器製造などの商工業や、その製品、サービス、生産者の顔や経営指針を披露することで交流と連携が図られることで新たな価値創造を見だし、後継者や人材育成に繋げる。さらに、東北線の駅前を活かした DC と連動での観光の一翼を目指す。
事業概要	①平成 29 年にスタートした「プレミアムフライデー」に賛同し、平成 29 年 5 月 26 日より、毎月末金曜日夕方に食を通じ農と商工業の交流による経済活性化を目的とし、JR 東北線とその駅の強みを活かすために黒田原駅前の空き店舗を活用した「那須珈琲 カフェ ラ デイトンツ」の店舗と隣の空き地を中心に「だっばら駅前マルシェ」を開催し、農家や商工業者に出店交流及び営業販促する場を提供した。 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 5/26、6/23、8/25、9/29、10/27 ・出店者 農畜産物生産者、飲食店、食器などの食関連の商工業者 ・特集 狭い空間とイベント性での集客が必要なため、月ごとにテーマや出店者を変えた。 ②フェイスブック、ブログ、インスタグラム、新聞折込でのイベントの告知、新商品の情報発信
事業の成果や効果	地域農業を支える担い手の確保・育成、さらに、マルシェを開催し、「食」を通してつながり合える地域づくりができたことで、農業や商工業者の交流と連携、地域担い手の人材育成が図れた。また、SNS を活用した情報発信を行うことで那須町と黒田原を PR することができ、知名度を上げることが出来た。

団体名	黒田原夏まつり実行委員会
事業名	黒田原夏まつり（3年継続事業1年目）
事業目的	黒田原地区の古き良きお祭りを再現することで、黒田原地区のコミュニティーを図り、黒田原地区の活性化を図る。 また、同日開催される八雲神社のお神輿と連携することで黒田原地区の魅力を掘り起こし、若い世代への伝統文化の継承の大切さを伝え定住促進に繋げる。
事業概要	黒田原駅前通りを歩行者天国とし「黒田原夏まつり」を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 7/22（まつりへの人出 2,000 人） 那須高校生を含む地域住民による出店が 30 軒程あり、路上ライブやチアダンス、キッズダンスなどのイベントも開催し賑わいのあるものであった。浴衣の体験コーナーを設置し男女問わず多くの方が浴衣姿で闊歩し風情も感じられた。 提灯棟等の飾り付けや会場設営を工夫しながら黒田原独自の伝統を作ることが出来た。 同時開催された八雲神社のお神輿は、那須高校生向けに教室を開くことでお神輿への参加促進に繋がり若い世代への伝統文化を伝承する機会となった。 夏まつりの魅力を発信するために、チラシ、フェイスブックなどにより PR を行った。
事業の成果や効果	古き良きお祭りを再現することで、黒田原地区住民のコミュニティーを図ることができた。 また、那須高校生などの若い人たちに当日参加だけではなく、祭りのアイデアを出してもらうなど計画段階から参加してもらうことにより、若い世代とともに祭りを作り上げることで黒田原地域への興味を持たせることができ、後継者育成を図ることが出来た。

団体名	黒田原地区歴史文化啓蒙事業
事業名	黒田原地区地域づくり委員会（2年継続事業1年目）
事業目的	<p>黒田原駅開業後 125 年の時を経て街並みを営々として築いてきた先人の苦労或いは心意気を当時の写真を見ることによって郷土愛を呼び起こし醸成する。</p> <p>また、駅開業前からの人々の暮らしについて探り歴史映像を作成することで、地域理解の深化を図り、小中学生向けの上映会などの開催を通じ郷土愛の醸成を図る。</p>
事業概要	<p>①「黒田原地区の歴史遺産の写真集」の作成（部数：50部） 活用方法：写真集とDVD映画と併用した啓蒙活動を実施した。</p> <p>②DVD映画の作成（10本(H30完成予定)） 目 的：駅開業以前からの歴史を映像に再現して地域の人々の啓蒙を図る為、地域おこし協力隊はじめ関係すると思われる諸団体と連携を取りながらシナリオを作成した。 配布先：町、関係機関（幼稚園、保育所、小中学校については出向いて上映会を開催しながら啓蒙活動を行う）</p> <p>③黒田原地区歴史文化啓蒙事業を達成に必要と思われる諸団体機関と連携して相互で協力ができる交流会を実施した。（時 期：9月、11月）</p>
事業の成果や効果	<p>先人の苦労や心意気、生き様を知ってもらうことで、黒田原の歴史・文化についての共通理解や、地域の魅力を再認識することができ郷土愛の醸成に繋がった。</p> <p>また、映像にした歴史物語作品を地域住民や小中学校と連携を図り上映会を開催することで、賑わいの再生を図ると共に地域理解の深化と郷土愛の醸成に繋がった。</p>

団体名	池田地区地域づくり委員会
事業名	池田地区ひまわりプロジェクト（2年継続事業1年目）
事業目的	<p>地区内の休耕田を活用し、「ひまわり」の植栽を行うことで、春は「ヒオウギアヤメ」、夏は「ひまわり」の連続する鑑賞可能な景観を地域の子ども育成会や中学校、住民との共同作業で整備し、地域の交流を深めるとともに観光資源とする。</p> <p>また、「ひまわりプロジェクト」に参加し地域として社会貢献できるという自覚の醸成を図る。</p>
事業概要	<p>・ひまわりの植栽に関する一連の作業を行い、約14kgのひまわりの種子を提供できた。</p> <p>植栽場所：一ツ樞地内の休耕田 規 模：10アール</p> <p>取組内容：園地の整地⇒除草剤散布⇒施肥⇒耕作⇒種子の手播き⇒除草⇒開花（花の鑑賞） ⇒種子採取⇒乾燥⇒種子発送</p> <p>種子の発送先：NPO法人シャローム（福島県福島市） 「ひまわりプロジェクト」を実施しているNPO法人である。</p> <p>※「ひまわりプロジェクト」とは、各地から届いたひまわりの種を製品化し、広く障がい者支援に役立てる活動。</p>
事業の成果や効果	<p>地区内の休耕田を活用し、春には「ヒオウギアヤメ」、夏には「ひまわり」を植栽することで連続する鑑賞可能な景観を作り観光資源とした。</p> <p>また、「ひまわりプロジェクト」を実施することにより地域としての社会貢献を行い自覚の醸成が図られた。</p>

団体名	高久地区地域づくり委員会
事業名	高久地区歴史めぐりと自然散策事業（3年継続事業1年目）
事業目的	地域の史跡と田畑等を活用した歴史めぐりと自然散策ができる散策路を整備し、地域の歴史や自然、生物について講師の指導を受けながら散策会を行い、地域への誇りと郷土愛の醸成を図る。 また、地域住民と学童の交流とコミュニケーションを活発化させ、安心・安全の質の向上を図り住みよい地域づくりに貢献するため、休耕田を活用したもち米の栽培を行う。
事業概要	①イベント参加者の安全確保を目的として看板の準備、用水路用橋の設置、階段の設置、草刈り等の散策路の整備を実施した。（実施時期：4/23、7/16、11/5、3/30（延べ49名参加）） ②学童から高齢者までの地域住民間の交流と郷土愛の醸成を図るため、草花・野鳥・水辺の生き物などについて講師の説明を受けながら歴史めぐり、自然散策会を実施した。 実施時期：草花・生き物観察(8/20)参加者31名 歴史めぐり・自然観察(11/12)参加者24名 ③地域内の休耕田を活用し、地域住民の共同作業によりもち米を耕作し、地域住民間の交流を図り、住み良い地域づくりに貢献した。収穫したもち米で学童105名、保護者及び会員約40名が参加した餅つき大会を開催した。 （田植え：5/11 古代米刈取り：10/16～10/20 もち米刈取り：11/4）
事業の成果や効果	地域の歴史めぐりと自然散策路を整備し散策会を実施することで、地区の歴史や資源を住民全体が深く知ることができ、希薄になりつつある地域住民間の交流・コミュニケーションを活発にすることができた。 また、地域の休耕田を活用して地域住民と学童でもち米の栽培を行い、お互いに触れ合う機会を持つことで住民間の交流ができ、地域全体の安全・安心の質の向上に繋がった。

団体名	那須高原作家協会
事業名	那須高原芸術祭（3年継続事業1年目）
事業目的	効果的な情報発信や二次交通の強化による夜間イベントの誘導、若年層観光客など新規分野での顧客獲得に加え、観光客を迎え入れるためのおもてなし人材の育成を図り、那須町に人を呼び込み地域経済の活性化を図ることを目的とする。
事業概要	①地域芸術の情報発信による地域活性化を図るため、那須町在住デザイナーによる展示会と他団体とのコラボレーション展示を実施した。 （会期）6/2～6/29 （会場）サッポロビール那須工場森のビール園2階ギャラリー ②地域住民や観光客との交流を図るため、ワークショップを開催した。 （会期）6/4、6/11、6/18、6/25（会場）サッポロビール那須工場森のビール園2階ギャラリー ③芸術祭のPR及び情報発信の拡大を図るため、キャンドルナイトコンサートを開催した。 （会期）6/2 19:00～20:30 （会場）サッポロビール那須工場森のビール園1Fレストラン ④アートによる地域づくりの取組みを図るため、他芸術祭の視察や他団体との勉強会などを実施し、おもてなし人材の育成を行った。
事業の成果や効果	展示会は新人作家の発表の場にもなり、若手の活躍の場を増やすことができた。また、他団体との連携により、新しい客層を呼び込むことができた。 ワークショップや他芸術祭の視察では、参加者との触れ合いにより、観光客を迎え入れるおもてなし人材の育成につなげることができた。

団体名	那須の道を美しくする100人の会
事業名	竹のイノベーションを考える里山再生と地域振興（3年継続事業2年目）
事業目的	竹林を活用して音楽演奏等のイベントを開催することで、竹に直接触れる体験により竹資源の利活用方法を考える機会を提供するとともに、地域住民と観光客の拠点づくりとなり、芦野の観光スポットへ回遊する観光客を増加させる。 芦野の景観や地域資源を保全することにより、郷土愛と定住意識の醸成を図る。
事業概要	①芦野自治会や遊行会などの協力のもと、土壌の改善と環境改善のために粉碎機による竹、樹木の整備を実施した。（実施日：5/16～19（延べ16名参加）） ②竹利用の先進地（平塚市）を視察し、竹林での七夕飾りを実現することが出来た。（視察日：4/21 会員5名参加） ③地域の住民、観光客にとっての拠点となる場所をつくり、芦野の観光スポットへ回遊する観光客を増加させるため、竹林を楽しみ五感を震わせるような地元音楽家を招いた演奏会や前那須町地域おこし協力隊員、ロイヤルマイスターによるワークショップを開催した。（那須芦野七夕まつり 実施日：7/7～8） ④フォトブック、チラシ、ラジオなどでイベントをPRした。
事業の成果や効果	竹林で音楽演奏やワークショップ等を行うことで、竹を身近に感じて利用価値を考え、放置竹林の問題と里山の一部としての利活用の方法を考えていくきっかけが作れた。 また、竹林整備では地元団体との共同作業により、地域とのつながりができ、地域資源を保存し地域を誇りに思う意識を醸成することができた。

団体名	あかりキッチン
事業名	あかりキッチン（3年継続事業2年目）
事業目的	高齢になっても安心して住み続けられる地域を目指すために、高齢者の健康状態や栄養状態、日常生活の変化について感知できる調理や食事などの交流会や食事作りが困難な高齢者に見守り弁当宅配を行う。さらに、小学校や放課後児童クラブと連携し、夏休み中の昼食づくりを行い、働く保護者の負担を軽減し安心して快適な子育て環境を提供し、地区の定住促進に寄与する。
事業概要	高齢者とスタッフが共に調理や食事を通じて交流を図ることで、高齢者への栄養指導を行い、健康状態を把握する。また、食を通じて交流することにより、寝たきりや認知症を予防し健康寿命の延伸を図る。また、食事交流会に参加できない高齢者については、スタッフが見守りを兼ねて定期的な弁当宅配を行い、高齢者の日常生活の変化などを感知することで、高齢になっても安心して住み続けられる地域にするため事業を実施した。 ・「食事交流会」 毎月末12回開催 延べ387名参加 場所：穂積公民館 ・「見守りを兼ねたお弁当宅配」 毎週火曜日実施 弁当宅配数1,082個
事業の成果や効果	高齢者とスタッフが共に調理し、食事を通じて交流を図ることで、高齢者への栄養指導を行い、健康状態を把握し日常生活の変化を感知することができた。また、食を通じて交流することにより、高齢者が住み慣れた地域で顔見知りな人と共に安心して自立した生活を送る一助となり、寝たきりや認知症予防に大きく貢献した。

団体名	那須・地ビール祭り2017実行委員会
事業名	那須・地ビール祭り2017（3年継続事業2年目）
事業目的	関東近県の観光客をターゲットとしてテーマパークを観光して帰る那須の周遊コースを作り、観光産業の増売、活性化（宿泊・テーマパーク）を図るため、宿泊施設と連携し地元食材（那須和牛）等のPRも兼ねた地ビール祭りを開催する。さらに、外国語に対応したホームページでの情報発信、旅行会社への売込みを行い訪日外国人旅行者（インバウンド）の誘致を図る。
事業概要	<p>①那須・地ビール祭り2017の開催 日程：8/26～27 場所：余笹川ふれあい公園 参加者数は8,000人 全国の地ビール醸造会社15社とグルメ出店19社 26日は町主催「那須・ビーフ祭り」で那須和牛の販促が行われた。 JR黒田原駅やJR黒磯駅からイベント会場までの送迎バスを運行した。</p> <p>②情報の発信はチラシの新聞折込やホームページ、フェイスブックで行った。 新聞折込：35,000部（那須町・那須塩原市・大田原・白河市） 一般配布：10,000部</p> <p>③関連団体と連携し宿泊施設からイベント会場までの送迎やビール券販売などを行った。</p>
事業の成果や効果	<p>「那須・地ビール祭り 2017」を2日間開催することで、宿泊者やテーマパークに立ち寄る観光客が増加し、飲食、お土産の増売に貢献し那須地域全体へ効果が波及するイベントとなった。</p> <p>また、町内の関係団体と連携を図ることで、宿泊施設が地ビール祭り参加の特別宿泊パッケージツアーを企画販売したことから、県外からの前売りビール券予約も多くなった。</p> <p>今後のプランの開発及び販売について海外の集客も含め検討することができた。</p>

団体名	傾聴と在宅支援のボランティア・のぼらん
事業名	「傾聴と在宅支援」による地域支えあい事業（3年継続事業2年目）
事業目的	傾聴と在宅支援を必要としている方を支えるボランティアの人員を増やし、継続して学ぶことで傾聴と在宅支援を必要としている、より多くの方への対応が可能となるよう地域支え合いのための人材育成を目的とする。
事業概要	<p>①「研修会」よい聞き手になるためのボランティア養成講座の開催 家族や地域の人に対して意識の高い高齢者あるいは支え手として学ぶことが出来た。 （実施日：11/11、11/18、11/25、12/3）</p> <p>②講演会《かいご、さいご、そのご》 実施日：6/24 在宅訪問医師による講演で、総合事業による社会変化や人生の最終章の捉え方、終末期をどう迎えるかなどについて広く町民の皆様に向けた講演会を開催できた。</p> <p>③ケア（介護）する人たちのためのケアラズカフェ「野の花」を開催 介護者同志が日頃の精神的緊張や疲れを互いに話し合い、寛げる場となるよう傾聴的に支えた。</p> <p>④『エンディングノート』を携え、認知症を理解し人生の終末期を話し合う集いを開催した。</p>
事業の成果や効果	<p>介護する方同士の悩みなどを共有するケアラズカフェ「野の花」を開催することにより、地域とのつながりを促進し、介護者の負担感を和らげることができた。</p> <p>また、傾聴研修会を開催することにより、傾聴に関する知識・技術を学び、参加者同士が交流することで、地域を支える人材を支援・育成し、地域を支え合う仕組みを作ることができた。</p>

団体名	つながるひろがるアート展 Nasu 実行委員会
事業名	障がい者アートを活用した地域づくり（3年継続事業2年目）
事業目的	アート展などを通じて、那須地域住民と観光客に障がい者への理解を深める機会を作るとともに、障がい者自身の優れた才能を発掘し積極的に社会に参加、貢献できる地域となり、魅力的な地域資源であることを認識してもらい、新たな人の流れをつくる。さらには障害の有無に関わらず人と人とがつながり、広げていく地域づくりを目指し誰もが住みやすいまちをつくる。
事業概要	<p>①第9回つながるひろがるアート展N a s u開催 開催場所：那須地域のホテル、レストラン等 14 会場 開催期間：11/3～11/26</p> <p>②地域の障がい者と子供達との交流のアートワークショップ 開催場所：伊王野陣屋 開催日：7/29 参加者：34 名</p> <p>③アーカーシャVII展、Viewing 展（栃木県障がい者芸術展）、T A M展などでの作品展示等</p> <p>④絵画作品カレンダーの作成、配布、販売（配布部数：1,500 部） 絵画作品のカレンダーを配付、販売し使用してもらおう事でつながるひろがるの取り組みと作家達の才能を知ってもらった。 ・配布先：大田原市・那須塩原市の美術に興味ある方</p>
事業の成果や効果	<p>障がい者アート展、ワークショップなどの障がい者の芸術的な才能に触れることで、地域住民及び観光客等の障がい者への理解を深めるきっかけを作ることができた。</p> <p>また、作品カレンダーを配布、販売することでも、障がい者アートに触れる機会を作り障がい者への理解を深めることができた。</p>

団体名	芦野地区地域づくり委員会
事業名	ホタルの里づくり事業（3年継続事業2年目）
事業目的	芦野に多くのホタルが飛び交うよう、ホタルの保護、保全活動に努め、住民自身が地域の魅力を認識する。また、「ホタルの里」として地域内外に対しホタルが飛翔している地域の自然環境をPRし、ホタル観光や豊かな自然環境の保全意識の醸成を図り、地域住民の交流の活性化を図ることを目的とする。
事業概要	<p>① ホタル飼育学習会を開催し、自然環境を守る活動をした。 ・実施日：6/15（15名）、7/1（14名）、12/22（17名）、3/10（5名） ・場所：芦野基幹集落センター及び芦野地区内ホタルの里 ・講師：なかがわ水遊園 目野 透先生</p> <p>②ホタル生息地の飛翔及び水質等の環境調査、環境整備の実施 ・実施日：6月中旬～7月上旬（調査員16名）</p> <p>③ホタル観賞会及び捕獲学習会「ホタルの保護活動」の実施（実施日：7/1） ホタルの生育環境への関心を高め自然環境を守ることを学んだ。 ・講師：なかがわ水遊園 目野 透先生</p>
事業の成果や効果	学習会、鑑賞会を開催し、「ホタルの里を作る」ために必要なホタルの生態や住める環境づくりの方法などを学ぶことができた。学んだことを基に環境整備などを行い、地域住民の自然環境の保全意識の醸成と地域住民の交流の活性化が図られた。

団体名	伊王野地区地域づくり委員会
事業名	ミツマタ群生地周辺整備事業（3年継続事業2年目）
事業目的	地域住民自らが、ミツマタ群生地の環境整備や取付け道路の整備に関わることで、住民の自然環境の保全意識や郷土愛を醸成し、地域の和を図る。また、伊王野城山公園と併せてPRすることで、交流人口の増加を図りつつ活発な地域づくりを促進し、伊王野地区に住んで良かったと思える地域を目指す。
事業概要	<p>地域住民自らが、ミツマタ群生地の環境や取付道の整備に携わることで地域資源に触れ、地域住民の自然環境の保全意識の醸成、郷土愛の醸成を図る。</p> <p>また、花の開花時期が重なる伊王野城山公園と併せてPRすることで、観光誘客の相乗効果を図り、交流人口を増加させるため次の事業を実施した。</p> <p>①ミツマタ群生地の倒木の撤去、下草刈りを行うとともに植栽により株数を増やした。 ②駐車場の整備を実施した。 ③ U字溝を設置した。 ④案内看板を設置した。（2か所） ⑤取付け道路の整備を行った。</p>
事業の成果や効果	<p>地域住民自らが、ミツマタ群生地の環境整備（立木伐採・草刈り等）や植栽、取付道の整備に携わることで、住民間の交流と親睦を深めることができた。</p> <p>また、地域資源に触れ、地域住民の自然環境の保全意識の醸成を図ることができた。</p>

団体名	大島地区地域づくり委員会
事業名	大島ふれあい田んぼアートづくり事業（2年継続事業2年目）
事業目的	<p>田んぼアートと大島ふれあい祭りを同時開催することで、相乗効果を高め住民の地域に対する愛着と一体感の醸成を図る。また、地域内外から多くの参加者を集い、地域住民との触れ合いや観光集客を図るとともに地域住民の自信に繋げ、町外流出を抑制する。</p> <p>さらに、地区のマスコットキャラクターを各種イベントに参加させ、元気な地区をPRする。</p>
事業概要	<p>①田んぼアートづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 苗作り、圃場整備、田植え、除草管理 ・ 環境整備（圃場周りの草刈り、観覧席の保守） ・ テーマ：「元気な大島」 ・ 公開：9/1～10月末日 <p>②マスコットキャラクター「しまたん」を運動会などの小学校行事や敬老会などの地域行事、県内外のイベントへ参加し、元気な大島地区をアピールした。</p> <p>③大島ふれあい祭りの開催 開催日：11/5 場所：上余笹橋河川敷公園</p>
事業の成果や効果	<p>河川公園等を利活用することで、地域住民がきれいに管理しようとする意識が醸成され、継続的に環境整備が図れた。また、町民主体のイベントである大島ふれあい祭りや田んぼアートでは、町内外からの参加者・見学者が年々増加し、地域住民の一体感も培っている。さらに、地区のマスコットキャラクター「しまたん」は、運動会などの小学校行事や敬老会などの地域行事、県内外のキャラクターが集まるイベントに参加し、元気な大島地区をアピールすることができた。</p>

団体名	田中地区地域づくり委員会
事業名	田中地区地域交流促進事業（3年継続事業3年目）
事業目的	<p>平成26年度から「田中地区探訪マップ」を作成し、翌年度には案内看板設置や環境整備、散策会を開催してきた。</p> <p>地域資源を地域住民自らが継続的に維持管理、景観整備することで、地域への誇り、郷土愛の醸成を図りながら住み続けたい地域づくりを目指す。</p>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に作成し設置した名所・史跡の案内板に案内文を補充設置した。 実施日：12/3（日） 設置場所：田中地区内7か所 ・田中戸長役場跡地の景観整備（竹林整備）を委員で実施した。 実施日：3/4（日） ・竹林整備で伐採した竹をチップにして田中地区農村公園の一部に敷いた。また、竹を利用してフェンスを補充した。 実施日：3/18(日)
事業の成果や効果	<p>地域の史跡や名所の由来などの解説を案内看板に補充することで、地域住民や来訪者がより理解を深め、地域のPRにもつながった。</p> <p>地域資源を継続的に維持管理、景観整備することで、地域の郷土愛の醸成を図られた。</p>